

重症度に応じた花粉症に対する治療法の選択

重症度	初期療法	軽症	中等症		重症・最重症	
病型			くしゃみ・鼻漏型	鼻閉型または鼻閉を主とする充全型	くしゃみ・鼻漏型	鼻閉型または鼻閉を主とする充全型
治療	①第2世代抗ヒスタミン薬 ②遊離抑制薬 ③抗LTs薬 ④抗PGD ₂ ・TXA ₂ 薬 ⑤Th2サイトカイン阻害薬 ⑥鼻噴霧用ステロイド薬	①第2世代抗ヒスタミン薬 ②遊離抑制薬 ③抗LTs薬 ④抗PGD ₂ ・TXA ₂ 薬 ⑤Th2サイトカイン阻害薬 ⑥鼻噴霧用ステロイド薬 ①～⑥のいずれか1つ。 ①～⑤のいずれかに加え、⑥を追加。	第2世代抗ヒスタミン薬 + 鼻噴霧用ステロイド薬	抗LTs薬または抗PGD ₂ ・TXA ₂ 薬 + 鼻噴霧用ステロイド薬 + 第2世代	鼻噴霧用ステロイド薬 + 第2世代抗ヒスタミン薬	鼻噴霧用ステロイド薬 + 抗LTs薬または抗PGD ₂ ・TXA ₂ 薬 + 第2世代
				もしくは 第2世代抗ヒスタミン薬・血管収縮薬配合剤* +		もしくは 鼻噴霧用ステロイド薬 + 第2世代抗ヒスタミン薬・
				オプションとして点鼻用血管収縮薬を2週間程度、経口ステロイド薬を1週間程度用いる。		
				抗IgE抗体**		
点眼用抗ヒスタミン薬または遊離抑制薬			点眼用抗ヒスタミン薬、遊離抑制薬またはステロイド薬			
アレルゲン免疫療法						
抗原除去・回避						

*本剤の使用は鼻閉症状が強い期間のみの最小限の期間にとどめ、鼻閉症状の緩解がみられた場合には、速やかに抗ヒスタミン薬単独療法等への切り替えを考慮する。

**最適使用推進ガイドラインに則り使用する。

出典) 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 鼻アレルギー診察ガイドライン作成委員会. 鼻アレルギー診察ガイドライン-通年性鼻炎と花粉症- 2020年版(改訂第9版), ライフ・サイエンス, 2020.